創立５８周年

令和７年度　学校経営の方針

○学校経営の基調《信頼と伝統を礎に、新たな時代にチャレンジする学校》

魅力ある学校とは、保護者・地域・児童との信頼関係とこれまで培った伝統を基盤にしながら、時代の変化に柔軟に対応しチャレンジする学校であると考える。

経営理念　　『和衷協働（協同）　【みなみの共育】を実践』 「和衷協働（協同）」…心を同じくして、ともに力を合わせること 学校・家庭・地域のベクトルを合わせ、みなみの共育で子どもをみがく。

魅力ある学校づくり【目指す学校像】

『みなみの共育』**見つめ・求め・歩む学校**～明るく活気にあふれた信頼される学校創り～

南越谷小学校は、

① 授業を大切にし、授業で子どもに力をつける学校

② 安全安心で、挨拶あふれる明るい学校

③ 夢と自信を持ち、憧れの笑顔がつながる学校

④ この学校で学んでよかった、勤めてよかったと誇りをもてる学校

そして、教育活動全体を通して子ども自身が自分を磨くことのできる学校でありたい。

自己を磨く
- み・・・「みつける」<見つめ>　課題・問題点の把握
- が・・・「考える」　<求め>　思考・判断
- く・・・「動く」　<歩む>　行動・実践・評価

目指す学校像の実現（魅力ある学校づくり）に向けて

1　確かな学力と豊かな心を育み、人間性豊かで、丈夫な体と強い意志を持ち、社会の変化に柔軟に対応するための**「生きる力」を育成**する。

2　日々の授業を大切に扱い、小中一貫教育並びに SDGs の目標達成に向けた学習や活動を充実させ、「生きる力」の基盤となる**『自己肯定感・自己有用感』を高める。**

3　学年・学級経営の基盤として、一人一人の児童が持っている意欲やよさを大切にし、個々の考えや伸びを認め、目標達成に向かって主体的に取り組む教育を実践する。
（**一人一人が自己をみがき高める取組の充実**）

4　教職員一人一人が「教育は人なり」の意味を自覚し、教育のプロとして必要な知識・技能を身につけるよう不断の研修に励み、組織の一員として力を発揮して教育活動を推進する。（**子どもに範を示す。教師の背中を見て子どもは育つという意識を常に。**）

5　学校・家庭・地域が目標や課題、方策等を共有して子どもへの共育（教育）を実践する。
（子どもを中心に据え、保護者・地域の声にもよく耳を傾けて共育を実践する。）

越谷市教育振興基本計画
生涯学習社会の実現を目指して
～いきいきと誰もが夢に向かって輝く越谷教育～
３つの視点　〇夢に向かって粘り強く学ぶ子どもの育成
〇地域で支え合い一人ひとりの夢を応援
〇健やかで心豊かに夢を追い続ける環境づくり
基本目標
１　生きる力を育む学校教育を推進する（学校教育）
２　生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する（生涯学習）
３　生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる（生涯スポーツ）

施策の方向　**１　９年間を見通した越谷教育を推進する**
２　確かな学力を育む
３　豊かな心を育む
４　健やかな体を育む
５　自立する力を育む
６　質の高い教育環境を整備する

１　学校教育目標
よく考え進んで学ぶ子・・・・・・・・・・みずから学ぶ
（自主性・向上心・自己教育力・自己肯定感）
きまりを守り社会につくす子・・・・・なかよく活動
（礼儀正しさ・親切・信頼・友情・奉仕の心）
健やかで粘り強い子・・・・・・・・・・みなぎる力
（明朗・節度節制・清潔・鍛錬・根気強さ）

学校教育目標の実現に向けて、みなみの教育(共育)を実践
学校・家庭・地域の共育力を結集し、子どもの成長と夢の実現を支える
キーワード【子どもの成長の実感】
みずから学び（知）　→　粘り強く学ぶ（探究心の育成）
・日々の授業を大切に　・小中一貫教育の深化　・ICT の効果的活用　等
・何を学び、どう生かすか（学びの生活化）
なかよく活動（徳）　→　人を大切にした活動（共生心の育成）
・計画的な交流活動等　・積極的生徒指導　・青少年赤十字活動の推進　等
・人権を尊重する姿勢、態度（多様性の尊重）
みなぎる力（体）　→　安全と健康意識『自己管理能力』向上（自律心の育成）
・安心安全を最優先　・体育活動の充実　・事故防止教育の充実
・保健教育、食育、感染症予防教育　・清掃活動、環境美化活動の充実
・運動の生活化　等

2　目指す学校像

『みなみの共育』見つめ・求め・歩む学校～明るく活気にあふれた信頼される学校創り～

①授業を大切にし、授業で子どもに力をつける学校

②安心安全であいさつあふれる明るい学校

③ 夢と自信を持ち、憧れの笑顔がつながる学校

④この学校で学んでよかった、学ばせてよかった、勤めてよかった、と誇りをもてる学校

3　目指す児童像

知・徳・体の調和がとれ、自己をみがき高める児童（自己の成長を実感できる児童）

① 主体的に考え、自律的に学ぶ子

② 自ら明るいあいさつができ、人を大切にする心優しい子

③ 心も体も健やかで粘り強く努力する子

4　目指す教師像

心も体も健康で、プロとしての意識と誇りを持つ教師

◎一人一人の教師の力が学校力を高める（教育は人なり＝最大の教育環境）

①専門性・得意分野を持つ教師（学ぶ姿勢をもち、常に自己研鑽する教師）

② 組織の成果向上に貢献する教師

③ 各自が適所で活躍し、学校力を向上させる教師

④ 子どもと共に汗を流す教師

5　本年度の重点

～明るく活気にあふれた信頼される学校創り～

① 個別最適な学び・協働的な学びの充実（ICT の活用とノートづくりの両立）

・学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善

・言葉を大切にし、「わかった」「できた」を実感できる授業実践

・個別の教育的ニーズに対応する特別支援教育の充実

・教科担任制を積極的に取り入れ、指導の深化と児童理解の促進

② 人権を尊重する教育（人権教育・道徳教育）の充実

・多様性を認め、個に応じた指導で一人一人の不安や悩みに寄り添う指導

・道徳的判断力・心情・実践意欲と態度の育成

・積極的生徒指導の実践（個に寄り添った指導と見届け）

・一人一人が安心できる学級づくり

③ 生徒指導・教育相談の充実（いじめ見逃し０・100%解消）

・いじめを見逃さず、早期発見・早期対応（解消）

・不登校解消に向けた関係機関との連携強化（SC・学校相談員との連携含）

・子どもの居場所づくり（SSR 設置を念頭に置いた環境の整備）

④ 地域の教育力を活用した学びの充実（開かれた教育課程の実現）

・学校運営協議会委員の積極的な学校運営参画

・学校応援団活動の推進と新たな地域人材の発掘と活用促進

・保護者、地域への積極的情報発信（適切なメール配信・HP のリニューアル）

⑤ 健康安全・防犯意識を高める教育の充実

・保健教育・食育、安全教育（防災教育）、交通事故防止教育等の充実

・健康で安全な生活を送るための清掃活動、環境整備・美化活動の充実

⑥ 働き方改革の推進と教職員事故０継続

・月６０時間超のゼロに向けた業務の効率化（ノー残業デーの設定と実施）

・経営理念を踏まえた教職員の協働体制の確立
・心身の健康を皆で気遣う風通しの良い職場づくり（衛生委員会の機能強化）
・倫理確立委員会の定期開催と教職員事故防止研修の実施

6　信頼される学校を創るために（再掲含む）

① すべての行動基準
・「迅速・的確・誠実」な対応
・「報告・連絡・相談・見届け（報告）」の徹底
・「礼を正し・場を清め・時を守る」
・「チームワーク行動（和衷協働）＝協働の精神」

② 学級経営の充実　教育活動の基盤はよりよい学級づくり（資料参照）
・落ち着いた教室環境づくり＝子どもの居場所づくり（安心・安全）

③ 研究・研修の充実（指導力・教師力を高める）
・富士中学校区　小中一貫教育の取組を継続
・学校課題研修の充実
・職務研修（一般研修）の計画的実施（危機管理・服務・特別支援・人権等）

④ 生徒指導・教育相談の充実（学校と家庭の情報共有・関係機関との連携）（資料参照）
・いじめの早期発見・早期解決と見届け（見逃し０）
・問題行動への適切な対応
・不登校（登校しぶり）への粘り強い誠意ある対応（ケース会議の開催）

⑤ 社会の要請に応える
・タブレット端末の有効活用と情報モラル教育の充実
情報モラルは、“情報社会において、適正な活動を行うための基となる考え方と態度”

情報モラルの具体例
・人権・知的財産権などの権利を尊重して情報社会での行動に責任を持つこと
・情報を正しく安全に利用できること
・情報機器の使用による健康とのかかわりを理解すること

・SDGs の目標達成に貢献する教育活動の推進
・学校の教育力と家庭・地域の教育力の融合（学校運営協議会・学校応援団等の協力）

⑥ 危機管理の徹底（資料参照）
・倫理確立委員会の機能強化
年間計画に沿った倫理確立委員会の開催（別紙年間計画参照）
時を捉えた計画的な事故防止研修の実施
・安全点検の励行
複数の「目」と「手」で確認➡五感を働かせてチェックする意識
迅速な修理・修繕対応
・児童の事故・苦情対応
「誠実・的確・迅速な対応」➡組織対応（複数対応）の徹底
「報告・連絡・相談」の徹底➡一人で抱え込まない　抱え込ませない
事故発生から正確な記録作成（記憶ではなく時系列で記録が重要）
・教職員事故防止➡風通しの良い、なんでも相談できる職場づくり
校内コンプライアンス相談窓口➡主幹教諭・学年主任⇒教頭⇒校長